

告示	番号	12	慢性呼吸器疾患
	疾病名	閉塞性細気管支炎	

閉塞性細気管支炎

へいそくせいさいぎかんしえん

概念・定義

不可逆性の細気管支狭窄によって労作時呼吸困難や低酸素血症などの換気障害を呈する疾患である。

症状

1. 呼吸困難
2. 多呼吸、低酸素血症
3. 呼気性喘鳴・咳嗽

治療

現時点で、確立された治療法はない。

- 1) ステロイド薬
発症早期、および気道感染に伴う呼吸器症状の増悪時)に、炎症抑制効果を期待してステロイドが使用されることが多い。ステロイド

は重症度に応じて、全身投与 (PSL1-2mg/kg/day や m-PSL パルス療法) または吸入療法が選択される。

- 2) 気管支拡張薬 (β 刺激薬) 吸入
呼気性喘鳴 (wheeze) を呈する症例で使用される。
- 3) 抗菌薬
気道感染に伴う呼吸状態の増悪時には、経口または経静脈的に抗菌薬を使用する。また、気道感染の予防のためにマクロライド系抗菌薬 (または ST 合剤) の内服を行う場合がある。
- 4) 酸素吸入
低酸素血症に対して酸素吸入を行う。
- 5) 肺移植
呼吸状態の増悪が進行性で、生命の維持が困難な状況に追い込まれることが予想される場合に選択されることがある

抜粋元 : http://www.shouman.jp/details/3_10_12.html